

# 就労支援のためのアセスメントシート（試作版）の開発（その1）

## －開発コンセプトと希望・ニーズの把握－

○井口 修一（障害者職業総合センター 主任研究員）  
武澤 友広・石原 まほろ・佐藤 涼矢（障害者職業総合センター）

### 1 本発表の趣旨

障害者職業総合センター研究部門では、2020年4月から3年計画で「就労支援のためのアセスメントシート」（以下「アセスメントシート」という。）の開発に取り組んでいる。2022年3月に「就労支援のためのアセスメントシート（試作版）」（以下「試作版」という。）を作成したので、その開発コンセプトと試作版の構成要素の一つである対象者の希望・ニーズを把握するための方法の概要について報告する。

### 2 アセスメントシート開発の背景と目的

障害者の就労支援では、教育・福祉から就労への移行にあたって、障害者の支援ニーズや就労能力の現状等を把握して適切な支援につなげていくためのアセスメントの実施が課題となっている<sup>1)</sup>。

このようなアセスメントツールとしては、障害者職業総合センターにおいて開発した「就労移行支援のためのチェックリスト」（2007）及び「就労支援のためのチェックリスト」（2009）<sup>2)</sup>（以下「既存のチェックリスト」という。）があるが、これらのツールが開発されてから10年以上経過している。この間、就労支援機関では就労支援におけるアセスメントの重要性についての認識が広がり、アセスメントに関するさまざまな取組が行われている。こうした就労支援の現状を踏まえ、障害者の支援ニーズや就労能力の現状等を把握して適切な支援につなげていくための新たな評価ツールの開発が必要になっている。

### 3 アセスメントシートの開発方法

アセスメントシートは、①研究委員会等の設置による専門家集団の検討（2020年10月から実施）、②就労支援機関に対する質問紙調査（2021年1月から2月実施）、③障害者を雇用する企業に対する質問紙調査（2021年9月から10月実施）、④試作版の就労支援機関における試用評価（2022年5月から7月実施）により開発を進めている。試作版は2020年4月から2022年3月末までの②と③の調査結果及び①の検討結果を踏まえ作成した。

### 4 開発コンセプト

上記3の②及び③の調査結果を参考に、上記3の①の研究委員会等においてアセスメントシートの基本的な考え方、

全体構成、評価項目、評価方法等を検討することにより、以下の開発コンセプトが形成された。

- ・就労を希望する障害者（以下「対象者」という。）の希望・ニーズを踏まえた必要な支援と配慮を検討するための評価ツールを開発する。
- ・対象者の就労に関する希望・ニーズを把握し、対象者と確実に共有できる方法を検討する。
- ・既存のチェックリストの評価項目を整理し、就労支援機関と障害者雇用企業でのアセスメントの現状を踏まえ、アセスメント項目を見直すとともに、対象者の自己評価を導入したアセスメント方法に改定する。
- ・既存のチェックリストでは予測が難しい就労継続を妨げる要因を検討できるようにする。
- ・対象者の納得感を高め自己理解を促進するため、支援者と対象者の協同評価方式によるアセスメントとする。
- ・就労継続を妨げる要因など対象者と環境との相互作用の視点を重視したアセスメント方法を検討する。
- ・対象者のストレングスに着目する仕組みを導入する。

### 5 試作版の概要

#### (1) アセスメントシートとは

アセスメントシートは、対象者の就労に関する以下の①から③までの情報を支援者と対象者が協同で収集、整理することにより、両者が対象者のストレングス（長所）や成長可能性、就労するうえでの課題等を適切に理解し、就職に向けた必要な支援や配慮を検討することを目的に活用するものとした。

- ① 対象者の就労に関する希望・ニーズを明らかにする。（下記6参照。）
- ② 対象者の就労のための作業遂行・職業生活・対人関係に関する現状（就労のための基本的事項）を明らかにする。（（その2）参照。）
- ③ 対象者と環境との相互作用の視点による就労継続のための望ましい環境を明らかにする。（（その3）参照。）

このアセスメントシートは、就労の可否や就労可能性の高低を評価できるものではなく、また、特定のサービス等への振り分けを行うために使用するのとは適切でないとした。

#### (2) アセスメントに必要な情報

アセスメントシートは、個別面談場面を通じて、対象者から提供される情報のほか、場面設定法（作業場面）や職

場実習により支援者が把握した情報、家族や関係機関から提供される情報、他のチェックリストやワークサンプル、検査等の情報を総合的に活用して実施することにした。

### (3) アセスメント結果シートと活用の手引

上記5(1)の①から③の結果を表示するアセスメント結果シートを別に設定するとともに、アセスメントシートの目的、内容、方法、使用上の留意事項等を解説した「アセスメントシート活用の手引(試作版)」を作成した。

## 6 試作版における対象者の就労に関する希望・ニーズの把握

### (1) アセスメント項目

MSFAS(幕張ストレス・疲労アセスメントシート)<sup>3)</sup>等を参考に研究委員会等の検討を経て、対象者の就労に関する希望・ニーズを把握するための10領域33項目を設定した(表1)。

表1 就労に関する希望・ニーズの項目

領域	項目
職歴	1. これまでに就職した経験はありますか [選択肢]
	2. 就職した経験について、勤務先や仕事の内容、労働時間、働いた期間などを教えてください(新しいものから順に)
	3. これまでに就職した経験の中で気に入っていた仕事や職場があれば教えてください
	4. これまでに就職した経験の中で自分にあわなかった仕事や職場があれば教えてください
	5. 差し支えなければ、退職した理由を教えてください
就労等の希望	6. 一般就職を希望していますか、一般就職以外の就労や訓練で希望するものはありますか [選択肢]
	7. 一般就職以外を希望している場合、希望する理由を教えてください
	8. 一般就職以外を希望している場合、将来一般就職したいと思いますか [選択肢]
働く動機・目的	9. 働きたいと思う理由や働く目的は何ですか また、働くことで実現したいことを下記の選択肢から選んでください [選択肢]
就職活動	10. 仕事を探すにあたって利用しようと考えている方法を教えてください [選択肢]
	11. 就職するときは職場に障害のことを伝え、配慮を受けたいと思っていますか [選択肢]
	12. そのように考えた理由を教えてください
職種・仕事の内容	13. どのような仕事を希望していますか
	14. その仕事を体験したことや見たことはありますか
	15. 希望する仕事のほかに興味のある仕事はありますか
	16. もっている免許や資格などがありますか(もっている場合)就職してその免許や資格をどのように活かそうと考えていますか

一般就職する際の労働条件・通勤	17. どのような働き方(労働日数・労働時間・休日)を希望しますか [選択肢]
	18. 正社員(期間の定めがない)として雇用されることを希望していますか [選択肢]
	19. 賃金はどのくらいを希望しますか [選択肢]
	20. 通勤できる範囲はどのくらいですか 実際に通勤する方法として考えているものを選んで教えてください [選択肢]
	21. 就職を決めるときに重視することはどんなことですか [選択肢]
職場環境	22. どのような職場で働きたいですか [選択肢]
	23. 職場で必要となる機器・設備はありますか
	24. 希望しない職場環境はありますか 下記の選択肢から避けたい環境を選んでください [選択肢]
合理的配慮	25. 働くうえで課題だと思うことや不安を感じることはありますか
	26. 職場で希望する配慮やお願いしたいことはどのようなことですか
ストレングス(長所)	27. あなたの長所やアピールポイントはどのようなことだと思いますか または得意なこと、興味のあることは何ですか
	28. 就労をサポートしてくれる家族や友人、支援者はいますか [選択肢]
支援サービス	29. 現在通院している医療機関はありますか [選択肢]
	30. 定期的な通院と服薬の状況を教えてください [選択肢]
	31. 主治医に不安なことや聞きたいことについて相談できていますか
	32. 就職前や就職後に希望する支援はありますか [選択肢]
	33. 就職する前に職場実習を希望しますか [選択肢]

(注) [選択肢]は回答選択肢を設定した項目を示す。

### (2) アセスメント方法

支援者と対象者による個別面談場面において、支援者が対象者に各項目について質問し、就労に関する希望・ニーズの情報を収集し、両者で共有する。

## 7 おわりに

アセスメントシートは、就労支援機関(就労移行支援事業所、障害者就業・生活支援センター、地域障害者職業センター等)15所において試作版の試用評価を行い、その結果に基づいて試作版の改良を行い、2023年3月に完成版を公開(当機構ホームページからダウンロード可能)する予定である。

### 【参考文献】

- 1) 厚生労働省「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会報告書」(2021),p.4-7
- 2) 障害者職業総合センター「就労支援のためのチェックリスト活用の手引き」(2009)
- 3) 障害者職業総合センター「幕張ストレス・疲労アセスメントシートMSFASの活用のために」(2010)